

通期の見通し

■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

国内では、資源価格の高止まりや物価高の影響に加え、世界的な金融引き締めによる海外経済の下振れリスクなど先行き不透明感はあるものの、個人消費の持ち直しや設備投資の増加など、内需を中心に景気は緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような経済状況のもとで、企業は業務効率化や競争力強化を目的としたデジタル化の推進やAI・IoT、5G等の技術の活用に加え、改正電子帳簿保存法やインボイス制度への対応、またWindows Server 2012サポート終了なども控えており、企業のIT投資は底堅く推移するものと予想されます。

■人的資本の再強化、労働分配率の改善

以上のような国内の経済状況やIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループでは、2023年度のスローガンである「お客様に寄り添い、まるごとDXで共に成長する」の方針のもと、当社グループの強みである幅広い取扱い商材やサービスを活かしお客様の

DX推進への取り組みを支援してまいります。中でもIT人材が不足がちな中堅・中小規模のお客様に対しては、デジタル化の支援とともに、生産性向上やコスト削減を実現する付加価値の高いソリューション提案を行ってまいります。そのために、営業やサポートの活動を支援する各センター機能やお客様マイページ[※]など多様なチャンネルを組み合わせ、お客様接点の強化を図るとともに、AI等の技術を活用した営業プロセス支援への取り組みを進めてまいります。また、ESG課題の解決とSDGsの達成への貢献に向け、ITを活用したサービスやソリューション提供を行ってまいります。加えて、2022年度より人的資本の再強化を目的に、社会動向の変化に先駆けて実施したベースアップを含む労働分配率の改善、社員の幸福度可視化、まるごと提案に向けたマネジメント改革、人材育成など、従業員のモチベーションを高め成長に繋がる施策を進めてまいりました。これらの施策により、目指す「オフィスまるごと」が徐々に形になりつつあり、2023年においても引き続き進めております。

※ お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイト。

■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、ドキュメントのデジタル化など生産性向上、競争力強化やコスト削減のニーズを見極めながら、お客様のデジタル化を進めるため、お客様に寄り添い、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材を活かした付加価値の高いソリューション提案を行います。

サービス&サポート事業では、「たのめーる」の競争力の強化に努め市場の拡大を図り、「たよれーる」の利便性を高め、お客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努め、着実に売上高の増加に繋げてまいります。

■通期の業績予想

通期の連結業績予想は、2023年7月26日に開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、年初の業績予想を上方修正し、以下となります。

売上高9,540億円（前年同期比10.8%増）、営業利益622億円（前年同期比13.6%増）、経常利益634億円（前年同期比11.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益427億円（前年同期比6.7%増）。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業6,130億円（前年同期比13.2%増）、サービス&サポート事業3,410億円（前年同期比6.8%増）。

売上高・利益計画

（単位：百万円）

	2022年 12月期	2023年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	861,022	954,000	+10.8%
営業利益	54,768	62,200	+13.6%
経常利益	56,639	63,400	+11.9%
純利益*	40,022	42,700	+6.7%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

（単位：百万円）

	2022年 12月期	2023年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	541,671	613,000	+13.2%
サービス&サポート事業	319,350	341,000	+6.8%